


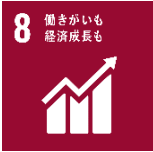


株式会社 協同コンサルタント S D G s 宣言

当社は「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : S D G s）」に賛同し、企業活動を通じて社会的課題の解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

| 取組内容 | 目指すゴール |
|--|---|
| <p>1. 地域の発展のために</p> <p>愛知県及び名古屋市測量業協会主催の防災訓練・災害対策研修会への参加、会社周辺の地域清掃、「子ども110番の店」を実施して、住みやすい街づくりに努めます。</p> |  |
| <p>2. 環境問題のために</p> <p>CO2排出量を継続的に削減できるよう、クールチョイスやエコドライブなどの省エネ活動を積み重ねています。また、社内で使用する備品等について、3R強化・省資源製品への切り替え・環境に配慮した商品を採用するグリーン購入を実施しています。</p> |   |
| <p>3. S D G s を実践する職場づくりのために</p> <p>企業理念としてS D G s が必要不可欠であることを全社員が認識し、S D G s への理解・関心を深めて積極的に取り組めるよう社内研修を行います。また、ハザードマップや近隣避難所などの防災ガイド、安否確認の手段を整備して緊急災害時に備えます。そのほか、資格取得支援や健康診断受診を推進し、職場環境の維持向上を図ります。</p> |    |

当社ではS D G s に関する次の制度に参加して取り組みを進めています。

なごやS D G s グリーンパートナーズ

認定優良エコ事業所（令和5年1月16日認定）





株式会社 協同コンサルタント



2023年度 環境活動レポート

● はじめに ●

当社は建設コンサルタントとして長年名古屋市を中心に土地区画整理をはじめとした都市開発事業に携わってきました。顧客の生の声に触れ、街づくりの現場に身を置く者として、持続可能な開発こそ当社の果たすべき役割だと切実に感じています。

2014年以降、年を追ってCO₂排出量を削減することができました。分別回収や室温設定を守るといった毎日の省エネ活動が習慣化したことに加え、ハイブリッド車の導入、よりエネルギー効率の高い照明器具への交換、節水型トイレの導入など、設備面においても強化を図れたことが実を結びました。

エネルギー削減の必要性は社会的課題としてますます高まっており、今後も様々な環境問題の情報収集に努め、省資源や生物多様性など活動の範囲を広げながら、都市開発と環境保全が共存する新しい街づくりを目指します。

● 環境に関する経営理念・方針 ●

当社では「未来の子ども達につながる安全で快適なまちを創造する」ことを経営理念に掲げています。循環型社会の構築なくして健全なまちづくりはあり得ず、社会の要求としてその重要性が増しつつあることを実感しています。健全な自然環境や生物多様性の恩恵の上に事業活動が成り立つことを全従業員が深く認識し、環境保全に配慮した行動を継続的に実践しながら持続可能な社会づくりに取り組むことが、当社が果たすべき最も重要な社会的責任であると考えます。

【 環 境 方 針 】

当社は事業活動において下記の方針に従い、環境の保全と向上に努めます。

1. 環境保全の重要性と社会的責任を認識し、環境対策に継続して取り組みます。
2. 全従業員が環境問題に関心を持ち、環境方針に従って行動します。
3. 環境に関する法令及び倫理を遵守します。
4. リサイクルや環境配慮型製品の使用を推進し、資源の有効利用を図ります。
5. 廃棄物等削減の目標を定めて記録を取り、情報収集を行って改善に努めます。
6. 事業活動に伴う資源の利用や廃棄物が生物多様性に及ぼす影響を認識し、生態系への負荷を減らす行動を通して循環型社会の建設に努めます。

● 事業所の概要 ●

| | | | |
|---------|---|---|--------------|
| 事業所名 | 株式会社 協同コンサルタント | | |
| 所在地 | 名古屋市緑区鳴海町字中汐田84番地1 (2階) | | |
| 代表者 | 代表取締役 近藤 優 | | |
| 事業内容 | 土地区画整理事業 測量業 一級建築士事務所 建設コンサルタント業 補償コンサルタント業 不動産業 | | |
| 創業 | 昭和4年4月 | / | 資本金 3000万円 |
| 従業員数 | 20名 | / | 担当者 総務課 近藤 |
| 敷地面積 | 589.32㎡ | / | 延床面積 350.10㎡ |
| 事業所の沿革 | | | |
| 昭和4年4月 | 名古屋市昭和区菊園町に水野源之助測量事務所設立 | | |
| 昭和37年7月 | 社団法人 協同区画整理事務所に組織変更 | | |
| 昭和51年5月 | 有限会社 協同区画整理事務所に商号変更と共に 本社を名古屋市緑区六田に移転 | | |
| 平成元年11月 | 株式会社 協同コンサルタントに商号変更と共に 本社を名古屋市緑区鳴海町に移転 | | |

環境に配慮した取組の状況

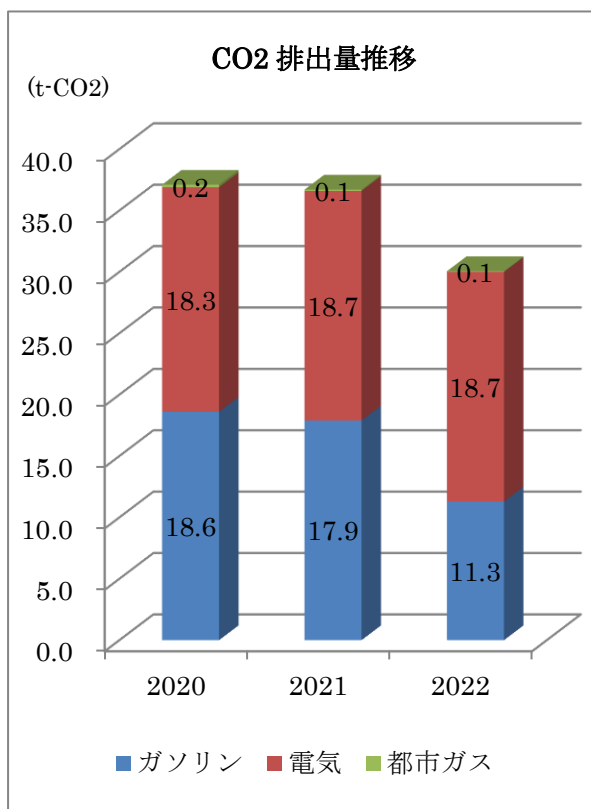
1. 目標と実績

(1) 2023年度の年間目標：CO₂排出量前年度比3%削減

月間目標を「各エネルギー使用量が前年同月値を下回ること」に定め、社内報で月ごとに報告・点検を重ねて年間目標の達成を目指します。

(2) 実績

| 排出区分 | 単位 | 使用量 | | | | |
|---------------------|-------------------|------------------|--------|--------|--------|-------------------------------|
| | | 2010年度 (基準年度) | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 3年間平均 (t-CO ₂) |
| 電気 | kWh | 51,616 | 37,234 | 37,816 | 37,822 | 17.8 |
| ガソリン | L | 14,018 | 8,000 | 7,710 | 4,880 | 15.9 |
| 都市ガス | m ³ | 164 | 64 | 56 | 27 | 0.1 |
| CO ₂ 排出量 | t-CO ₂ | 57.3 | 36.3 | 35.9 | 29.2 | 33.8 |
| 基準年度比 | % | 100.0 | 63.4 | 62.7 | 51.0 | 59.0 |



当社では、2014年度以降、年を追ってCO₂排出量の削減を続けています。

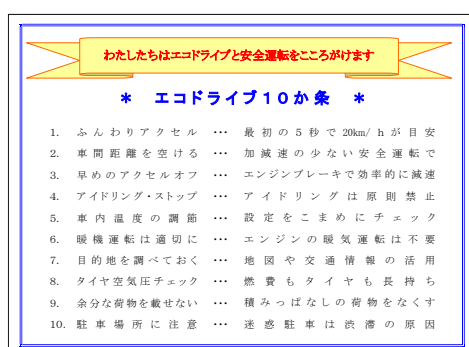
2022年度はガソリンとガスの使用量が最も少ない年となり、エネルギーの使用削減が進みました。年間CO₂排出量は30 t-CO₂を切り、記録を取り始めて以来、最も排出量が多かった2010年の半分になりました。

2023年度は上記の月間・年間目標のほか、社会的に削減要請が続いている電気使用の見直しをモットーに掲げ、ピークシフトなど新たな取り組みにも力を入れて、更なる省エネ活動を進める計画です。

2. 具体的な取組内容

(1) エコドライブ

- ・各社用車の燃費を月毎に記録し、運転に生かせるようファイルしています。また2011年にエコドライブマイスターを取得しました。
- ・「エコドライブ10のすすめ」をA5大のカードにし、全社用車に配布して出発前に確認します。運転・停車中は裏面に返してダッシュボード上に置いて安全運転の宣言をします。



(2) 廃棄物抑制・リサイクル

- ・OA用紙回収ボックスやコピー機内に裏紙専用のトレーを設けて両面利用を図っています。また、コピーカウンター・用紙購入量を集計して無駄づかいをなくすようポスター掲示等で呼びかけます。
- ・社内メールやサーバー、プロジェクターを活用して、会議資料や回覧書類の印刷を削減しています。
- ・ペットボトル等名古屋市指定の資源収集品のほか、OA用紙・新聞・雑誌・ダンボール・雑紙・アルミ缶を廃品回収に出しています。
- ・余剰文具を保管する中古文具コーナーを作りました。使用済みファイルや封筒の置き場所があることで廃棄量が減り、見出しなどを貼り替えて使用頻度の少ない書類や個人用に回すなど状態に応じた使い分けが進みました。

(3) 節電対策

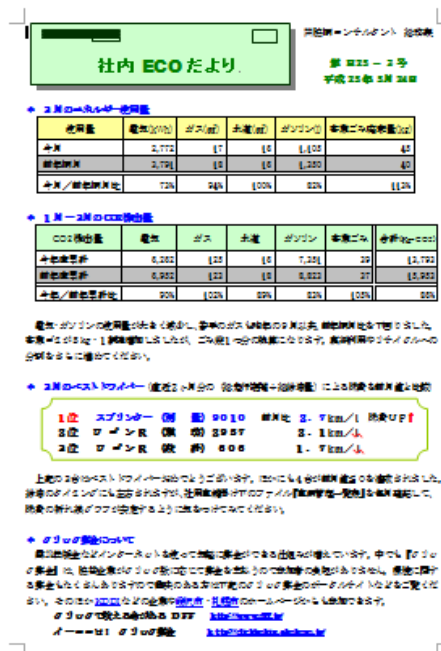
- ・空調の温度設定（夏期28℃/冬期20℃）を定め、クールビズ・ウォームビズを実施しています。そのほか、昼休みや不在席の消灯、OA機器の省エネモードを活用しています。
- ・月に1度社内の一斉清掃日を利用して照明器具や空調フィルターの清掃を行います。

(4) グリーン購入

- ・グリーン購入に関する指針・基準を定め、購入製品のリストを作成しています。グリーン購入法適合商品を中心に、グリーンマークやリサイクルマーク付きの製品を優先的に購入・使用しています。

(5) 取組結果の点検

- ・電力・ガス・水道・ガソリン・事業系ごみの使用量を集計し、環境家計簿を利用してCO₂排出量を把握します。
- ・エネルギー使用量、燃費が向上した車両、環境に関する話題など、毎月「社内ECOだより」として電子メール・掲示で全社員に周知しています。月ごとに不備を見直し、目標に向けて早めの対応を心掛けています。
- ・毎年度末に総括を行い、新たに年間・月間の目標を定めます。



(6) 社会貢献

- ・ペットボトルキャップや使用済切手を社内で収集し、地元の施設や店舗が主催する回収へ参加しています。そのほか、検索ポータル「緑のgoo」やクリック募金の活用を呼びかけて環境問題への関心を高めています。

(7) ハイブリッド車の導入

- ・社用車8台中2台にハイブリッド車を導入しました。長距離・長時間運転の者から優先的に使うなど工夫をし、燃費の良さに加え、給油回数が減るメリットがありました。



(8) その他の取り組み

- ・照明器具を見直し、エネルギー効率の良いH f 蛍光灯などへ段階的に取り替えを行っています。電気使用量の削減だけでなく、従来の蛍光灯より寿命が長いため、交換・廃棄の手間や買い置きを減らすことができました。



- ・西日の強い窓へ遮光フィルムを張りました。温度・光が共に抑えられて快適で、カーテン等と違い、取換や掃除の手間も省けました。
- ・社内のトイレを節水型に切り替え、季節ごとに水温等を調整し、夜間のタイマーオフを実施しています。
- ・電力のピークシフトの取組として節電プログラムに参加しています。電気使用時間シフトの通知があった際は、社内メール等で呼びかけを行い、該当時間帯の節電強化を実施しています。

● お問い合わせ先 ●

株式会社 協同コンサルタント

(住 所) 〒458-0801 名古屋市緑区鳴海町字中汐田84番地1 (2階)

(電 話) 052-624-3311 (FAX) 052-624-1740

(URL) <http://www.kyodoconsul.com> (E-mail) info-mail@kyodoconsul.com

なごやSDGsグリーンパートナーズ 認定優良エコ事業所について

参照 URL : [名古屋市トップページ](#) > 事業向け情報 > ごみ・環境保全 > 環境保全 > 地球温暖化対策 > [なごやSDGsグリーンパートナーズ](#)



認定優良エコ事業所

なごやSDGs
グリーンパートナーズ

